



青森労災病院理念 「やさしく、あたたかい病院」

- ・患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を行います。
- ・医療の質の向上をめざします。
- ・勤労者医療・地域医療連携等における社会的責任を果たします。

地域医療機関との懇談会を開催しました。

去る7月9日（木）に八戸プラザホテルにおいて第1回目の「地域医療機関との懇談会」を開催しました。この会は、地域医療機関の先生方をお招きして、当院との医療連携を深める目的で初めて開催し、地域の先生方40名にご参加いただきました。

第1部の会議では以下の新たな診療機能をご紹介させていただきました。

「生活習慣病センターの設立について」

副院長 玉澤 直樹

「リニアックの更新について」

放射線治療科部長 近藤 英宏

「胎児診断エコーとサージトロンの導入について」

第二産婦人科部長 梅本 実香

第2部では交流会を開催し、普段顔を合わせてお話しすることができない地域の先生方との交流を深めることができ、大変有意義な会となりました。誠にありがとうございました。



診療機能のご紹介

今回は、心臓血管外科のレーザー焼灼術、歯科口腔外科の口唇口蓋裂の治療について担当診療科の筆頭部長よりご紹介させていただきます。また、先の懇談会でもご紹介しましたが、産婦人科のサージトロンと超音波診断装置整備にともなう治療について改めて担当診療科の筆頭部長よりご紹介させていただきます。

★心臓血管外科からのお知らせ★

心臓血管外科部長 小野 裕逸

■血管内レーザー焼灼術（Endovenous Laser Ablation、EVLA）導入へ

下肢静脈瘤はそれ自体生命の危機に関わるような疾病ではありませんが、日常生活において種々の症状を伴い、生活の質を落としかねないものであります。当科では、昨年1年間で約80例の下肢静脈瘤手術の実績がありました。患者さんから「レーザー手術はできないのか」といった問い合わせも散見されています。以前であれば「東京まで行けば・・・」この1～2年は「仙台・盛岡ならば・・・」という返答をしておりました。今回、当施設におきましても、血管内レーザー焼灼術を導入する運びとなりました。青森県では3施設目、南部地域では初の導入となります。

従来の静脈瘤手術は、高位結紮やストリッピング手術が主体であり、これらの手技は効果や安全性において十分に確立されているものであります。それでも低侵襲治療への波はとどまるところを知らず、静脈瘤治療におきましても同様かと存じます。

ELVAは腰椎麻酔も必要なく、エコー下穿刺でレーザーファイバーを静脈内に挿入、レーザー照射により静脈壁内の水分に吸収され、直接静脈壁を熱変性させ閉塞たらしめる手段です。当科では最新の1470nm波長のレーザーを採用したことで、以前の980nmレーザーに比して、痛みや皮下出血が少ない、術後血栓症が少ないなどのメリットを享受できると思われます。巷では日帰り手術としての適応も少なくありませんが、当分は短期入院で行っていくつもりであります。

全例がELVAの適応になるかということ、静脈瘤の形態によっては従来式のストリッピング手術等が必要な症例もあります。まずはご相談にいただければと存じます。

下肢静脈瘤治療用ダイオードレーザー（インテグラル ELVeS レーザー1470）



Copyright©Integral Corporation.
All Rights Reserved

★歯科口腔外科からのお知らせ★

歯科口腔外科部長 中山 勝憲

■口唇口蓋裂の治療について

口唇口蓋裂は人種によって発症率が異なりますが、日本を含めたアジアは世界で最も発症率が高いと言われ約500人に一人の割合で出生しています。しかし日本国内でも口唇口蓋裂を専門的に治療する施設は極めて少ないのが現状です。その原因は、口唇口蓋裂が審美的問題だけでなく多岐にわたる症状を合併することから単科での治療は不可能であり、チームアプローチを必要とするためです。実際多数の病院を掛け持ちで通院している症例も少なくありません。仕方なく東京・仙台の遠方まで通院しているという話もよく耳にします。

そのような患者さんの一助となるべく、当科では院内チームアプローチを確立しほぼ全ての治療を労災病院内で行っています。その具体例としては、

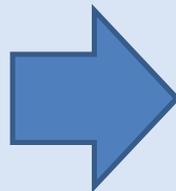
- 1) 出生直後の哺乳障害・発育不全に対しては、小児科との連携の下、ホッツ床（Hotz・NAM床）装着による哺乳指導・発育管理を行います。
- 2) 口唇・口蓋裂手術においては数十種多岐にわたる全ての手術に対応しています。
- 3) 音声言語障害を後遺した症例にはリハビリ科言語治療に加え、鼻咽腔内視鏡検査やスピーチエイド・パラタルリフト音声言語補助装置の製作を行い、言語安定化後に咽頭弁形成術を行っています。
- 4) 歯列不正・咀嚼障害に対しては歯科矯正治療だけでなく、骨格的不正を合併した症例には外科矯正手術をも行っています。
- 5) 顎裂部骨欠損による歯牙萌出不全・顔面陥凹に対しては自家腸骨海面骨細片移植術を行い、顔面对称性の回復手術を行うとともに歯の萌出誘導を行っています。
- 6) 成長に伴う口唇・鼻変形に対する修正手術を行っています。

以上、当科では口唇口蓋裂治療の全てに対応可能であり、[日本口蓋裂学会発行「口唇裂・口蓋裂の治療プラン-全国111診療チームにおける現況-」](#)においても、[県内で唯一掲載されています](#)。現在、県内には未だ設立されていない口唇口蓋裂センターを目指し活動を続けているところです。口唇口蓋裂児は数回に渡る手術だけでなく、哺乳管理、音声言語管理、歯列不正にともなう咀嚼機能障害管理、成長に伴う顔面変形修正手術等、出生から20歳前後までの長期にわたる継続的管理が必要です。よって他県病院での治療は通院不能などにより不完全となることも多く、これが患者を不幸にする原因の一つにも挙げられています。

諸先生方には口唇口蓋裂の病態・治療期間の長さ等をご理解頂き、八戸市内でも口唇口蓋裂の総合的治療が可能であることをご承知頂き、対象の患者さんがございましたら、是非当科へご紹介ください。



左唇顎口蓋裂術前



左唇顎口蓋裂術後

★産婦人科からのお知らせ★

産婦人科部長 佐藤 秀平

平素より先生方におかれましては、当院産婦人科の診療にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。このたび、当科で2つの新しい機器を整備いたしましたので、ご紹介いたします。

■サージトロン

昨年度までは当院でがん検診後、もしくは、その受診後の診断にて子宮頸部高度異形成以上と診断された患者さんに関しては近隣施設に加療をお願いしておりましたが、このたび、ラジオ波による切除・止血可能なサージトロンを導入し、子宮頸部円錐切除術の対応が可能となりました。

円錐切除（Coin IncisionからDeep Conization）および頸管内生検を要する患者さんで当院での加療を希望される方がございましたら、地域医療連携室を通じてご紹介ください。

なお当院の円錐切除術は、傍頸管ブロックにて手術を施行し、1泊入院のクリティカルパスを用いた入院加療となります。（尖圭コンジローマの局麻切除についても対応可能です。）

サージトロン（エルマン Dual EMC）



豚皮切開時の比較

RFメス(4.0MHz)



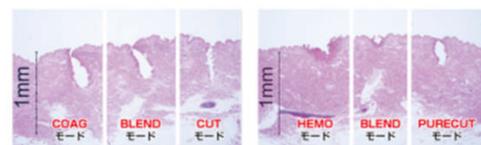
炭化組織は視認されません。

電気メス(500kHz)



切開線周囲に組織炭化が見られます。

皮膚切開による組織比較



4.0MHz
サージトロンによる切開図

472kHz
電気メスによる切開図

■産科超音波診断装置

経腔カラードップラーおよび、経腹4D（HD live）機能を備えた機器を整備いたしました。これにより、以下の診療に関して、施行することが可能になりました。

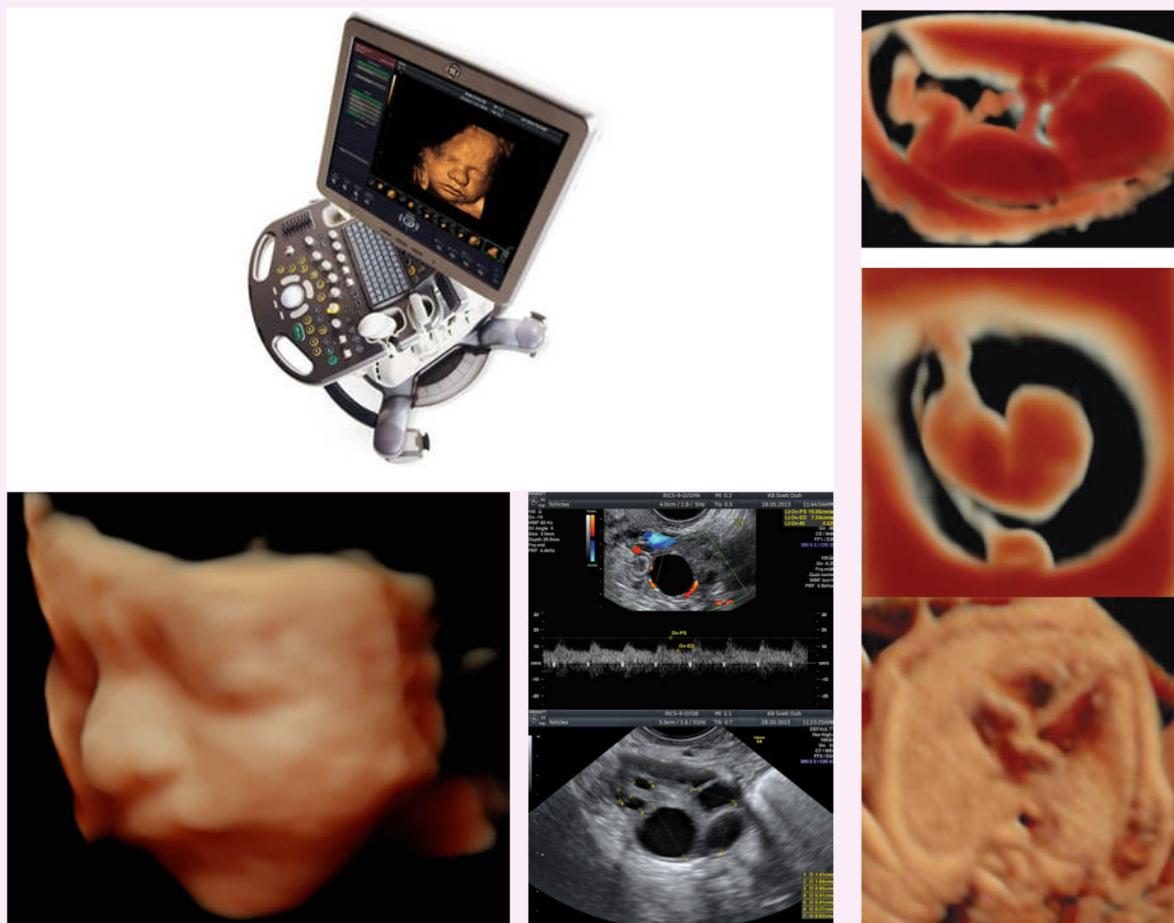
- 1 妊娠初期～中期の胎児スクリーニング（含：心奇形スクリーニング）
- 2 妊娠中期までの 4D HD live（患者さんのサービスの目的での施行も可能です）
- 3 不妊治療における卵胞・子宮内膜発育の評価(2D ,CDE ,4D)
- 4 子宮奇形の診断
- 5 卵巣腫瘍の血流診断

などが利用可能になりました。

周辺の先生方の施設におかれまして、診断等に必要な患者様がおられましたら、ご紹介いただければ幸いです。

今後ともよろしくお願い致します。

産科超音波診断装置（GEヘルスケア volusonS8）



青森労災病院 FAX・電話による診療予約のご案内

当院では、紹介患者さんの待ち時間短縮を目的に、FAX・電話による診療予約を実施しております。

◎専用FAXによる予約方法

予約受付時間：午前8:30～午後9:15(ただし、状況によって対応します。)

予約FAX番号：0178-33-1690 (地域医療連携室直通)

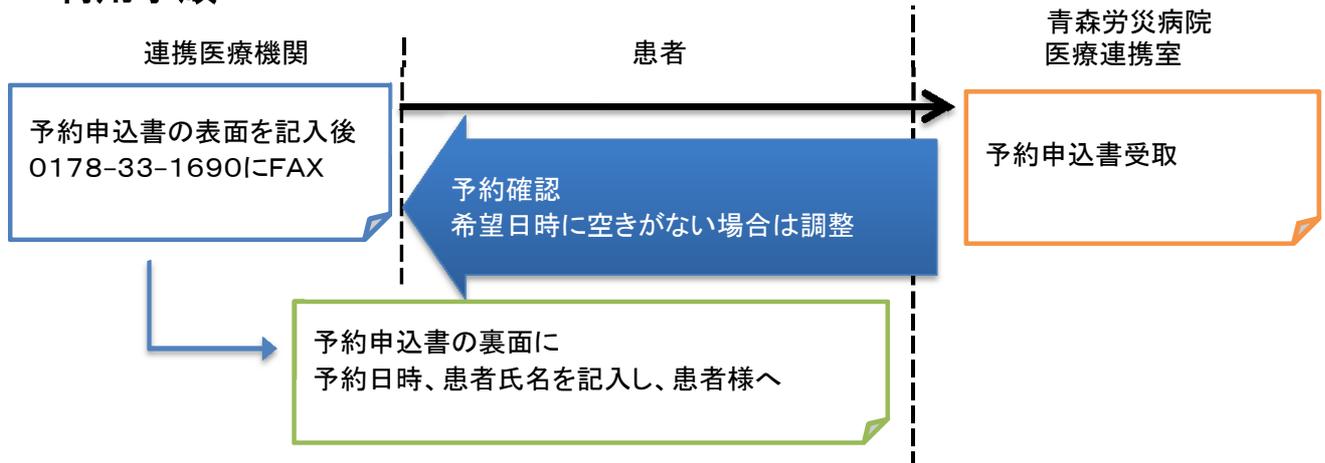
予約申込書：当院ホームページ≫各部門のご紹介≫地域医療連携室のページからダウンロード可能です。

郵送またはFAXでもお送りしますので、ご希望の際はご連絡ください。

※予約の申込につきましては、診療日前日までとなっております。

当日の予約は出来ませんのでご了承ください。

利用手順

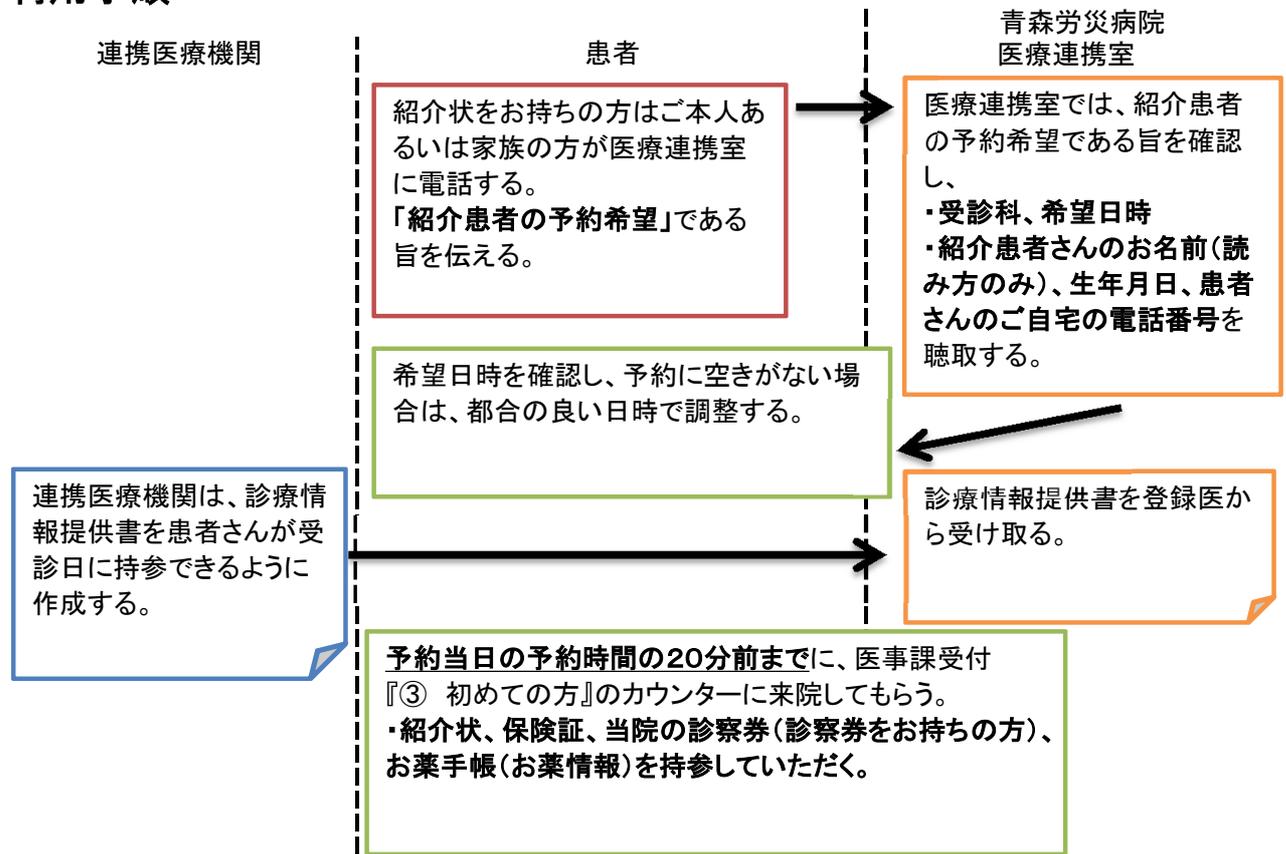


◎電話による予約方法

予約受付時間：平日午前8:30～午後5:00

予約電話番号：0178-33-1551 内線2515

利用手順



※FAX予約では、事前にカルテ作成を行います。電話予約の場合、当日のカルテ作成となりますので若干お時間を頂きます。